

令和５年度 鈴鹿市応急診療所運営委員会 議事概要

1 日 時

令和６年３月１８日（月） １９時３０分～２１時

2 場 所

鈴鹿市総合保健センター 会議室

3 出席者

応急診療所運営委員 ７人

事務局 ５人 合計１２人

4 傍聴者

なし

5 内 容

(１) 挨拶

(２) 利用状況について

ア 令和５年度（Ｒ６年２月末まで）の利用状況

- ・令和５年度の利用者数は、令和６年２月末時点で１３,３１３人であり、過去５年間で最も多い利用者数となっている。
- ・内科患者が小児科患者を上回る状況が続いているが、今年度はインフルエンザ流行の影響もあり、小児科患者のうち、６歳から１５歳までの利用者が増加した。
- ・市外からの受診者の割合は１６％程度で、亀山市からの利用割合は昨年度と比べてやや減少した。
- ・７月中旬から新型コロナウイルス感染症の流行があり、７月から９月はひと月に１,２００人を超える利用があった。
- ・１０月末頃からは、インフルエンザ流行の影響で、発熱者等の利用者が多くみられた。

イ 年末年始期間における利用状況

- ・患者数の増加を見込んだ診療体制、検査体制などの協力により大きな混乱はなかった。６日間の合計患者数は１,１２３名で、昨年度から４９名増加した。

ウ 抗原検査実施状況

- ・令和５年度の検査件数は、令和６年２月末時点で、新型コロナウイルス

ルスが 8,575 件で、8 月の陽性率が 51.6%と最も高値、インフルエンザが 9,044 件で、12 月の陽性率が 54.1%と最も高値であった。

エ 決算見込み報告

・令和 5 年度の決算見込みは、歳入が歳出を上回る見通し。

(3) 薬剤等について（R 6 年 1 月末まで）

- ・採用薬剤の使用量と、使用期限切れにより廃棄となった薬剤量の報告
- ・医薬品の供給不足時の調達協力についての報告

(4) 今後の診療体制について

- ・来年度の GW 前後の開院状況の報告

(5) その他

- ・応急診療所の感染対策について
- ・お盆の診療体制について
- ・市外患者に対する他市負担について
- ・これまでの運営委員会等での意見への対応